

入院治療で諦めていた『卒業式』 友達と一緒にオンラインで参加したい



▲事例解説動画

【学校】高等学校 / 【きっかけ】生徒からのご相談 / 【準備期間】1週間

長期の入院治療で学校行事へ参加できない経験をする児童生徒がいます。特に、学校生活最後の卒業式というのは特別な行事です。慣れ親しんだ校舎や、親しい友人たちと離れ離れになる、人生の節目の日を共にすることを病気のために諦めたくないという願いは誰しも共感できると思います。そんな生徒の思いを受け取った周囲の大人たちが短期間で連携を図り、病室へ卒業式を中継した事例をご紹介します。

- ☑ NPO 職員と生徒との信頼関係から卒業式への思いをキャッチ
- ☑ ご両親と学校、NPO が短期間で連携して通信テストを実施
- ☑ 生徒の卒業式参加を優先した病棟や病室での処置時間調整

WEB中継
ご提案

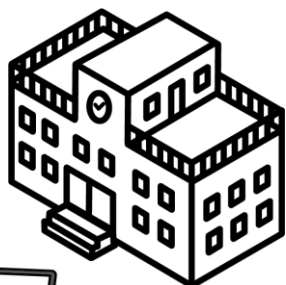
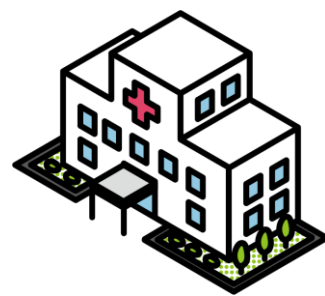
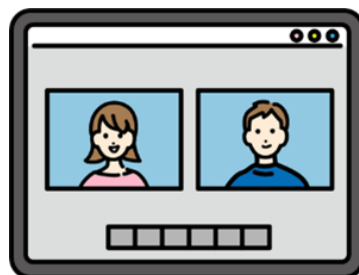
両親から
協力相談

通信機器
動作確認

卒業式
中継本番

高校3年生の12月から治療のために、突然の入院開始となり、感染対策のため家族とも対面で会えない長期入院が始まると連絡がありました。

ポケットサポートが実施している入院中の交流支援活動に参加できるようにするため、iPadを貸し出して、オンラインで会話やゲーム等での交流を続ける中、2月末の検査結果から「卒業式の日に出発できない」という事実を聞いて生徒が落ち込んでいる様子がありました。



そこで、テレビ会議システムによるオンライン中継で卒業式への参加を提案しました。生徒は入院中でも参加できる可能性を感じてくれました。生徒本人からご両親へ相談したところ、すぐに学校、病院と連絡をとっていただきました。卒業式当日まで1週間と準備期間が短い状態でしたが、2日後には学校での通信テストが実施できました。

担任の先生と一緒に当日の中継場所や、当日の流れ、マイク音声、カメラ画質、Wi-Fi環境なども含めて病室との通信テストと動作確認を行いました。

使用したテレビ会議システムは Zoom で、パソコンやモバイル Wi-Fi、ビデオカメラ等の機材はポケットサポートから持参しました。学校側には、電源や撮影場所の確保を依頼しました。式典の中継ではビデオカメラから USB キャプチャーデバイスを経由してパソコンに接続しました。体育館2階後方の指定された場所から、式全体を映して、クラスの人たちが証書を受け取る時等はズームするなどの工夫を行いました。

教室に設置した機材はパソコンにWEBカメラとスピーカーフォンを接続して、ホームルーム中の教室の様子を集音、病室の生徒の声も周囲に届くようにしました。担任の先生に生徒の顔が見えるようにパソコン画面は教卓に向けて設置し、入院中の病室からは iPad でその様子を見るという配置にすることで、オンラインでも対面と変わらない雰囲気づくりにしました。

卒業式の中継中は「ここが見たい」「会場全体で良い」などの要望を生徒から直接 Zoom を通じて聞き取りながら調整しています。最後のホームルームについては、他の生徒さんたちが戻ってくる前に、教室に機材を速やかに設置し、通信した状態で技術スタッフは別室で待機していました。

中継場所や、閉め切りの室内では通信状況が悪くなることもあったようですが、ホームルームでクラスの友人たちと会話などのやり取りが行なわれたことも伺いました。病院側も「卒業式の時間は入室や処置を控えましょう」と申し送りがなされていたことで、集中して行事への参加が行なわれました。ひとりの生徒のために、たくさんの関係者が協力してくれたからこそ、友人と一緒に卒業式を迎えることができました。

学校や病院としても、前例のない初めての試みでしたが短期間で実現できたのは、人生で1度しかない卒業式に出席させてあげたいという共通の思いがあったからこそだと思います。

事前の通信テスト中にテレビ会議でつながった病室の生徒が教室を見た時に、担任の先生と話ができ「あ、自分の席あった」「そりゃ、もちろんあるよ」というやり取りから、安堵した様子がとても印象的でした。人生の節目に大きな経験をした生徒さん。これから、自分の経験を役に立たせるため医療者を目指したいという夢を叶えて、今度は『人を支える側』になってくれることを心から願っています。

【生徒本人からの声】

僕は高校3年生の12月に、ある病気で入院することになりました。2月下旬に卒業式へ参加できないこともわかり、さらに大きなショックを受けました。ポケットサポートにリモート交流の時に相談してみました。そのときにリモートで中継ができるかもということをご提案してもらいました。

諦めていた式に参加できるんだと感じた時、嬉しい気持ちと希望が湧いてきました。そして病院と学校とを繋いだ卒業式に参加することができました。リモートで繋いだ卒業式では、画面上でしたが、先生から実際の卒業証書も授与して頂きました。繋いでくださった関係者の皆さんには、とても感謝しています。今は、作業療法士になるため勉強を頑張っています。僕の様な体験をした人に勇気を与えられるよう、これからも夢に向かって進んでいきたいと思っています。

